

日本共産党

鎌ヶ谷市議会報告

【発行】 No.185

2018年 春季号

【連絡先】

日本共産党鎌ヶ谷市議団
宮城とみ子議員
080-5002-3797
佐竹知之議員
090-9135-7421
松戸・鎌ヶ谷地区委員会
047-349-1544

2018年3月定例会議会は2月22日から25日間ひらかれ、議案20件と陳情3件、継続の陳情4件を審議・採決して3月19日に閉会しました。日本共産党市議団は、議案14件には賛成、平成30年度予算案は、市民の要望が反映されていないとして反対。その他、保険料の引き上げを予定している介護保険条例改定案などを含め6議案に反対しました。

一般質問

宮城とみ子議員



党議員 都民生活
団代表、市常任委員

税等の徴収は

丁寧な対応、相談を

市税や国民健康保険料、介護保険料などの滞納が増えていきます。収入減、失業などが主な要因のことです。一方で、徴収対策が層強化されています。預貯金、給与、不動産などの差し押さえ件数は年々増加しています。法律では、差し押さえ禁止の基準が示されています。納付の緩和措置などもあります。

また滞納処分の執行停止で、最低限の生活の保障は守られなければなりません。市民の暮らし、営業などを脅かすような強権的な対応はしないように、また、換価の猶予などの周知の徹底と、丁寧な対応を求めました。

自衛隊機、米軍機事故… 住民を守る課題は？

2月、自衛隊ヘリ墜落事故が佐賀県神埼市でありました。沖縄では、米軍機が保育園や小学校の上空から窓枠などを落下させるという事故があり、その他にも、事故が頻発しています。

海上自衛隊下総基地は、市の住宅密集地上空を低空飛行で行き来する離着陸訓練を日常的に行っています。騒音問題も深刻で、何かあったら、と思うと、本当に恐ろしいことです。

市が基地に問い合わせしたところ、「個別の飛行ルートや高度に関しては、国防上、必要な訓練をしている、詳細なルートを示すのは難しい」とのことだ、と答弁しました。

住民の安全を保障するには、基地撤去しかないのではないのでしょうか…？



下総基地のP3C機

北千葉道路(市川〜鎌ヶ谷間)事業 なぜ、そんなに急ぐ？ 福祉・くらし応援こそ最優先に

清水市長は、この道路建設の早期着手を求める期成同盟の会長です。今、この道路の関係7市と、推進派の国、県、市議たちが、未整備の市川・鎌ヶ谷間の約9キロメートルの事業を早くするようにと、活発に国に働きかけています。しかし、今の時点で、事業規模、費用対効果、工期など肝心な答えはまだ、決まっていないから「わからない」そうなのです。

その一方、「国の事業にしてと要請しているのに、市は全くお金を出さなくて済む。この道路が出来れば、街の活性化、大災害時の緊急輸送路としての活用(援助、救援活動の迅速化)、渋滞解消」などいいことづくめの答弁でした。

しかし、国の借金は1千兆円超となっており、鎌ヶ谷市の人口は減少、高齢化が進みます。この巨大道路事業を急ぐより、生活道路や通学路の整備など、市民の命、くらしを最優先にする姿勢がなにより求められているのではないのでしょうか？

一般質問

佐竹知之議員



会教員、常任委員、委員
役職 議員、委員、委員

梨農家の減少について市の認識と対策について

梨畑と農家が年々減少し、次々と宅地化されています。このままでは、市の特産である梨栽培をはじめ、緑そのものがなくなっていく危機感を感じています。28年3月議会でも取りあげましたが、再び、市の認識と対策について質問しました。

これに対し市は、「農住混在が顕著化しており、農家としては、周辺住民への影響を配慮しながらの営農で大変なこと。農業従事者の高齢化や後継者不足で持続性のある農業経営で大変厳しい状況にあると認識している。市の対策としては①「販路の拡大」で、鎌ヶ谷産梨の知名度向上、販路の拡大やブランド化を確立するために、梨のインターネット販売、札幌、沖縄での販売や羽田空港などでのPRイベントなど、国の交付金を活用した「ふるさと名物商品推進事業」の取り組みの推進②「営農環境の改善」では、剪定で出された枝を、堆肥化やバイオエネルギーなどとして、リサイクル事業化の支援実施③「市民との交流推進」では、農業まつり、梨共進会の開催、親子梨狩り体験教室の開催、市民農園の推進、かまがや朝市の支援などをあげています。

その他市としては、地元の梨農家の方や県の農業事務所職員が講師となり、梨の受粉、収穫、枝の剪定などの

実務を2年間にわたり、ていねいに教えていく「営農ボランティア・梨コーラス」の実施、将来の担い手の確保・育成として「農業青少年クラブの活動支援」などに取り組んでいるとの報告でした。

平成28年3月議会でも要望した「鳥害ネットへの助成の検討」は進展がありませんでした。



鎌ヶ谷市特産の「梨」は県内では市川市、白井市に次ぐ3番目の栽培面積。しかし年々、栽培面積が減少しています。

公営住宅を中心とする住まいの問題について

「住まいは人権」の立場から、市営住宅を増やし、民間住宅の借上げ方式も考えて、公的な住宅をもっと増やすべきだと主張しました。

市は県営や市営住宅で「概ね需要にえている」との認識。入居の競争倍率は、過去3年間で市営住宅が平均2倍。県営住宅は5.2倍。結構高い倍率となっています。希望者全員が入居できるように公的住宅を確保すべきだと強調しました。

市民共同の「合葬式お墓」をつくるってほしい

お墓がなくて困っている市民が増えています。市営で市民共同の「合葬式お墓」をつくるべきだと主張し要望しました。

市民要望 実現したものは・・・

- 学校のトイレ改修（洋式化など）事業・・・
北部、初富、道野辺、南部、鎌ヶ谷小を実施。洋式化率は平成29年度末で60.3%に。しかし、小・中学校すべて終えるのは今後13年かかるとのこと。
- 中学生平和教育（被爆地の長崎への）派遣事業が増額され、さらに3年に1回の実施から2回へ増やす。
- 小学校でも就学援助の新入学・学用品費の入学前（3月中に）支給を実施。
- ワンコイン受診（特定健康診査の受診率向上対策）毎年継続して受診をした方の自己負担額を1000円から500円に軽減する。
- 交差点改良事業 市道22号線（東中沢自治会館付近）など
- 地域排水整備事業 鎌ヶ谷2丁目など

福祉、くらし最優先の予算を要望

2018（平成30年度）の総予算は535億9700万円

内訳は、一般会計 323億6千万円

特別会計 212億3千700万円

政府予算は防衛費が過去最高を更新させる一方、全世代の社会保障は、改悪と削減の内容です。これが、生活保護本体の削減、年金のキャリアオーバーの開始、介護保険料や後期高齢者医療保険料の引き上げなど、市の予算に影響しています。その上、今年度の予算の特徴として、市の財政指標は全て健全な数字ながら、従来以上の歳入確保、歳出削減に取り組まないと、近い将来、財源不足が生じるみこみだということで、徹底的な行財政改革と徴収の強化などを掲げた予算計上となっています。共産党市議団としては、社会的弱者やこどもの貧困対策、不足している特養ホームの新設や増床、老朽化した学校施設や公共施設の改修、大地震などの災害対策などを最優先にすべきと主張しました。

後期高齢者医療保険料は

878円（年）の引き上げ！

平均保険料は年額で72,597円になります。

【例】年金収入 約200万円 単身世帯の場合 保険料年額は30年度7万2597円

（29年度は7万1719円）

賦課所得47万円

（公的年金等基礎控除120万円、基礎控除33万円除く）

千葉県広域連合の会議で、共産党の議員は反対しましたが、決定してしまいました。質問した議員は2人（共産党）だけ。いのちと健康にかかわる問題なのに2時間程度の審議だったそうです。

介護保険料は引き上げに！

平成30年度～32年度（第7期）の3年ごとの計画期間での介護保険料や事業計画が決定しました。

それによると、「基準額」で月額5270円（現行4890円）に、380円上がります。年額にすると63240円（現行58680円）です。

それぞれの保険料は被保険者の所得で決まります。

保険料の設定は14段階です。

1段階が生活保護受給者や老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税で本人所得が年に80万円以下の人でも、年に2371円の増、14段階の人は、年に1万121円もの負担増になります。

国保料は据え置きに

この4月から、国保制度が大きく変わり、今まで市町村が運営していた国保が県に移り、市町村と共に運営することになります。（広域化）しかし、財政の弱い市町村国保を全県でまとめても財政は強くなりません。

鎌ヶ谷市の平成30年度の保険料は一般会計からの繰り入れと激変緩和措置により、据え置くことになります。しかし、激変緩和措置は6年間の暫定措置で、しかも年々減少するみこみです。ですから、とりあえず、平成30年度は、値上げは回避されても、それ以降、引き上げがないとは言い切れません。

そもそも、据え置きで今のままでも国保料は高過ぎます。国保料が高い主な原因は、国が市へのお金を出さなくなったからです。引き続き、市議団として、国保会計の総収入の25%の財政支援割合を元の50%に戻すことや、減免制度の拡充なども求めていきます。

賛否が分かれた主な議案の内容 (○は原案に賛成、×は反対、△は継続審査)	党派		議員名														採決の結果																	
	日本共産党	政友会	公明党	市民連合	未来クラブ	無所属	宮城とみ子	佐竹知之	大野幸一	土屋裕彦	原八郎	泉川洋二	勝又勝	芝田裕美	森谷宏	松澤武人		小泉巖	石神市太郎	野上陽子	中村潤一	池ヶ谷富士夫	佐藤誠	川原千加子	小易和彦	矢崎悟	津久井清氏	針貝和幸	三橋一郎	岩波初美				
議案11号 平成30年度鎌ヶ谷市一般会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決		
議案12号 平成30年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案14号 平成30年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案15号 平成30年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採決
陳情1 議会のインターネット中継システムの改善を要請する陳情	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	×	○	○	○	不採決		
陳情2 鎌ヶ谷市議会議長への請願・陳情にかかわる署名簿の提出方法を改定する陳情	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	不採決	
陳情3 鎌ヶ谷市財政白書作成を求める陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	不採決	

生活・法律相談会（相談無料） 毎月第一金曜日（5月は連休のため第2金曜日） ※ご相談は予約が必要です。

党松戸・鎌ヶ谷地区委員会 047-349-1544

鎌ヶ谷市議団

宮城とみ子議員 080-5002-3797 佐竹知之議員 090-9135-7421

党鎌ヶ谷市委員会 FAX 047-446-0351

FAX 047-412-0032

FAX 047-446-3729